

第24回 第1分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所第二分庁舎 1 - 会議室
日 時	平成18年6月9日(金) 午後1時30分～午後3時30分	記録者	【学生補助員】 竹前 古谷
		責任者	区事務局(菊地、荻原)
<p>会議出席者：21名 (学識委員：1名 区民委員：15名 区職員：5名 )</p>			
<p>配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第23回会議録</li> <li>・提言書(第一分科会原稿抜粋)</li> <li>・6月25日チラシ</li> </ul> <p>進行内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本日の進め方について</li> <li>2. 提言書の報告について</li> <li>3. 6月25日の発表内容について</li> <li>4. その他(事務局)</li> </ol> <p>会議内容</p> <p>【発言者】 : 区民委員、 : 学識委員、 : 区職員</p> <p>:(リーダー) それでは時間も過ぎましたので始めさせていただきます。</p> <p>1. 本日の進め方について</p> <p>:(リーダー) 6月25日に第一分科会が今までやってきたことについて発表するのですが、そのことについて今日は話し合いたいと思います。</p> <p>今日の進め方については次第の通りにやっていきます。今日までの一年、早いものでもう提言書提出が迫っています。本当に皆さんご苦労様でした。特に中間発表会以降は各グループリーダーの皆さんを中心に文章をまとめていただきました。また、編集部会のほうからさまざまな指摘等があり、多少、皆さんの意に反したところもあったとは思いますが、一応、第一分科会としては分科会の皆さんの了承を得たものを出しました。本当にありがとうございました。</p> <p>今後、25日に提言書を提出しますが、それで終わりではなく区民会議参加者の方はこのまま区民会議委員という資格を有することになり、その後の意見書の提出にも携わっていただきますのでよろしく願いいたします。それでは提言書の内容について入ります。</p> <p>2. 提言書の報告について</p> <p>:(リーダー) 配布資料の「提言書(第一分科会原稿抜粋)」を参照にしてください。</p> <p>ここには大項目と中項目の説明と、中項目にある第一分科会として提出されている提言が書いてあります。「目次」の後部作成の経過等については、第三分科会の学識</p>			

経験者の窪田さんがまとめてくださったものが掲載されています。

また7ページ目には大項目として「区民主体の自治をつくる」の説明があります。こちらには第一分科会が直接関わるテーマはありません。

その後、大項目として「ひとをはぐくみ、こころ豊かにくらすまち」があります。こちらは 1「子どもの権利を実現し、子どもが市民として参画するしくみの創造」、2「子どもたちが質の高い教育を平等に得られる学校づくり」、3「地域の教育力向上のための学校と協議推進」というテーマが第一分科会から出されました。これらについては 1は沖さん、工藤さん、2、3は野原さんにまとめていただきました。ありがとうございました。

- 4「青少年の自立と社会参画支援」は山田さん、6「子育ての社会化と子育てを核とした地域づくり」は小原さん、7「母親、父親として、働くものとして、地域人としての多様な生き方設計支援」は田谷さん、工藤さんにまとめていただきました。

大項目「まちの記憶の再生と環境の創造」のうち第一分科会としては 10「すべての人のみならず次世代が、心豊かに、安定的に生活の質を維持できる社会（「持続可能な社会」）をめざして」については森田さんにまとめていただきました。

大項目「ひろがる、新宿的ライフスタイル」は 1「若者が集う活気溢れる新宿作り」ということで山田さんと、杉山先生にまとめていただきました。皆さん、本当にありがとうございました。

また、「ワークライフバランス」についても項目としてあるのですが、抜けてしまっているのので、後で配布します。それでは杉山先生から一言お願いいたします。

:(杉山) 5月30日に編集部会が行われ各分科会からいらっしゃっている学識経験者の先生方がこれらの提言書について目を通し、細かい指摘、直しを行いました。一方で、私からも「バリアフリー」のところは高齢者、障がい者のことだけしか指摘されていなかったのでも「子ども、子連れの視点」というものを入れてくださいとお願いしてきました。これについては他の分科会の方々も肯定的に受け入れていただきました。

また全体の感想としては、皆さんからの意見もまとまってきたので、できるだけ読みやすいように編集しました。

それから、付け足しになりますが、最後のこの時にワークライフバランスや大項目「ひろがる、新宿的ライフスタイル」に若者の自立等、可能性を入れられたということが非常に良かったと感じました。

今後は、区民会議が終わってしまったから終わりということではなく、これらをもどのように実践していくか、今後も引き続き継続していけたらよいと思います。

:(リーダー) こちらの資料には他の分科会の文章はありませんが、提言書は全部でどのくらいのボリュームになるのでしょうか。

:(菊地) 提言部分は全体で280ページ程度になる予定です。

### 3. 6月25日の発表内容について

:(リーダー) それでは次に6月25日の発表について話し合います。

まず、確認ですが発表資料の作成は田谷さん、当日の発表は石井さんをお願いすることになりました。

:(菊地) 6月25日のことはワーキンググループでもどうするか話し合ってきました。それで、現時点では各分科会に15分ずつ、活動の内容や今までの思いでも結構ですので、発表していただきます。

ということなので、今日は第一分科会として何を発表するかを決めていただきたいです。

:(リーダー) 基本は中項目について発表し、そのほかに何かありましたらお願いしよう。それでは、委員の皆さん一言ずつお願いいたします。

:(菊地) 以前よりぐっと見やすくなりました。今後はこれらをいかに基本構想に盛り込み、一般化し、広めていくか具体的な方法論が必要になると感じました。

:(菊地) 後半に「子どもの権利」について入れられたことがとても良かったと感じました。外国人だけでなく、新宿区が抱えている歌舞伎町の問題についても言えたので良かったです。どんな大人でも子どもでもまちづくりの切り口になるということを伝えて欲しいと思いました。

:(菊地) このような形になり、本当に感無量の思いです。ありがとうございました。

:(菊地) これらをどう継続していくかということが、やはり一番の難題であると思います。また、同時に、今回の区民会議に参加しなかった多くの区民の方にこれらを見せ、共感を得、広げていくことが大切だと感じました。

:(菊地) 問題解決の具体的な提案をしっかりと伝えていただきたいです。

:(菊地) 秋田の小学生殺人事件のとき、地域の人たちの目はとても大切だと感じました。これを機に私たちも回りに目を向けられるゆとりのある社会を実現していこうということを伝えたら良いのではないかと感じました。

:(菊地) さまざまな人と話し合えて本当に良かったです。このような機会が今回だけでなく、これからもあったら良いなと思いました。

:(菊地) 出産からニート問題まで、第一分科会は幅も広くとても大変でした。しかし、そのおかげで野原さんと一緒に小中学校という教育の中心に行ってお話をうかがってきました。また小中学校を訪問することによって、自分が教育を受けた当時の自分にはなかったものだ。これを機に小中学校教育について自分なりに考えをていこうと思いました。

:(菊地) 私としてはここに書いただけでは気がすみません。これからも小中学校訪問は続けていきます。また教育に関する議論はまだまだ足りません。教育委員会ばかりに頼

るのではなく、区長部局ももっと入ってもらいたい、それらを重点において伝えてほしいと思いました。

:(リーダー) 少子化、子育ての難しさ、外国人の増加等という認識はありましたが、実感というものは区民会議に参加するまでありませんでした。

今までの議論を十分に表現できたかというところには不安はあります。しかし、これらを言い放しにせず、実現されているか、10年、20年後と後を追いかけて見守っていきたいと思いました。

:(菊地) それでは、提言内容の発表についてご説明します。16日に最終提言に向けたワーキンググループがありますので、そちらで当日の発表の内容について話していただきたいと考えています。もちろん田谷さん一人で作成していただいても結構ですし、何人かの方で作成していただいても結構です。また本日欠席されています山田さんから発表に対するご意見をいただいているので、そちらは終了後にお伝えします。また、活動記録につきましては、事務局にありますのでそちらを話していただいても大丈夫です。

:(リーダー) 活動の流れ、例えば最初はこのようなことで話し合ってきたけれども途中でこんな風に気持ちが変わったとか、実際に現場に出向いて話を聞いてくださった方々のこと、それによってネットワークができたということ、今後もこれらの活動を続けていきたいということ、また色々な立場の方々が集まり話し合ったことがとても良かった、というようなことを発表しようと考えています。

:(菊地) そこに現場の方々が協力してくれたので、その方々への感謝の気持ちも入れていただきたいです。

:(リーダー) 今、後から来た方がいらっしゃるので、感想をいただきたいと思います。

:(菊地) 歌舞伎町の問題について書かせていただきました。歌舞伎町というまちを抱える新宿で子どもたちを健全に育てることができるのか、できないのか、今後は考えていく必要があると感じました。

また、この場でさまざまな方とお話をさせていただき子育てには経済的支援が不可欠だということも改めて実感しました。この提言書を読んで、また考えていきたいです。

:(菊地) 区民会議の委嘱期間についてですが、当初は11月30日まででした。しかし皆様の熱心な議論を考えると、短い期間で骨子案に対する意見をもらうのは難しい、骨子案を受け取ってから考える期間がさらに必要だろうと思いました。そこで、ご案内のように委嘱期間を1月31日まで伸ばさせていただくことになりました。それから、委嘱期間延長のお願いとあわせて送付させていただいた、提言書への氏名掲載についてですが、個人情報なので載せていいか、また発表の最後に皆様のお名前をスクリーンに載せてもいいか、という確認をさせていただきました。第一分科会47名中46人が名簿に載せていい、45名がスクリーンに載せていい、とい

うことになりました。

:(リーダー)ワーキンググループから25日のチラシが届いています。「わたしたちの新宿の未来は、わたしたちで創りたい!」という第一分科会で考えたキャッチフレーズがそのまま使われていて、提言書の表紙になります。このような区民会議は新宿区の歴史で初めてのことであり、今後もこうした会議が続けばいいと思います。その際には、今回の会議での進め方や反省などが活きるだろうと思います。とても価値ある一年でした。ご苦労様でした。

:(菊地)12月上旬に骨子案が出る予定です。再度、皆様にも集まっていただきますので、まだ区民会議は終わりではありません。交流の場はこれからも使えます。関係資料も用意してあります。他の分科会と利用日時が重なるかもしれないので、利用の際には区にも一言お願いします。今日をもって第一分科会はいったんお休みになりますが、存続していくことを忘れないください。

:(リーダー)第一分科会だけの打ち上げや反省会を開こうという提案もあります。特に反対など無ければ、全員参加でお願いしたいです。係を決めたいと思いますが、子どもさんがいる方のことも考えて決めたいです。

:基本構想審議会について簡単に説明してください。

:(菊地)第1回基本構想審議会が、7月7日13:30~16:00に開かれます。今日の提言を最大限尊重するというので審議会にお渡します。あくまでもこの提言書が計画策定のベースになります。法的・財政的にできないということもあるでしょうから、審議会は出来ないことについて理由を付して説明します。それに対して何か意見があれば意見書を提出することができます。2月中には審議会から答申がでます。その答申を受け、区の基本構想・基本計画が作られます。

審議会は月2回開かれます。審議会の構成については条例で決まっています。今回、より多くの区民の方にご審議いただきたいという思いから、区職員を除きまして30名の委員数を35名に拡大いたしました。委員構成は学識経験者7名、区議会議員7名、区民または各種団体構成員7名です。

:審議会の平均年齢が高いことが心配です。若い人をもっと入れてほしかったです。

:(菊地)6月25日の第1部で、各分科会の代表が15分ずつ発表します。その後休憩が15分挟まれます。第2部では、学識委員の紹介があり、その後に、区民会議の各分科会リーダー6人が区長に一言添えて渡します。そして区長が挨拶をして終了です。その後、写真撮影や懇親会があります。これらに参加される方は、分科会ごとの名簿でチェックしてもらい料金を前払いして半券を受け取ってください。

:(杉山)提言を全部読みましたが、かなりクオリティーが高いです。皆様が現場で活動されたこと勉強してきたことが行間に感じられ、客観的にも意識の高さを感じられます。中間発表の時には区民委員の意見が反映されてないという意見もありましたが、それを踏まえながら、今後はこれを実現できるように一緒にがんばりたいです。

とりあえず中締めになります。1年間ありがとうございました。  
:(リーダー) それでは終了します。ありがとうございました。